

〈水産物の消費について〉

【調査の目的】

福岡県及び水産関連団体では、県産水産物の消費促進のため、地産地消や食育を推進する取り組みを行っています。

今後の参考のために、県産水産物の消費促進について皆様のご意見をお聴きしました。

(農林水産部水産局水産振興課)

〈1〉スーパーや小売店で水産物を購入する際、産地をどの程度意識しているかについて。

(n=365 選択は1つのみ)

1 国産であることを意識して購入	60.5%	221
2 九州各県産であることを意識して購入	18.1%	66
3 県内産であることを意識して購入	4.4%	16
4 産地を意識せずに購入	15.3%	56
5 その他	1.6%	6

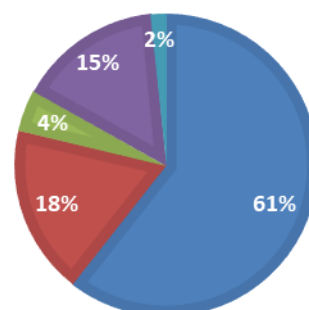
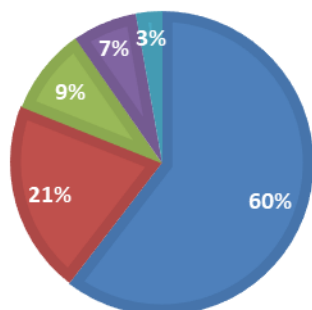
(平成19年との比較)

平成19年

令和2年

■国産 ■九州産 ■県内産 ■意識しない ■その他

■国産 ■九州産 ■県内産 ■意識しない ■その他



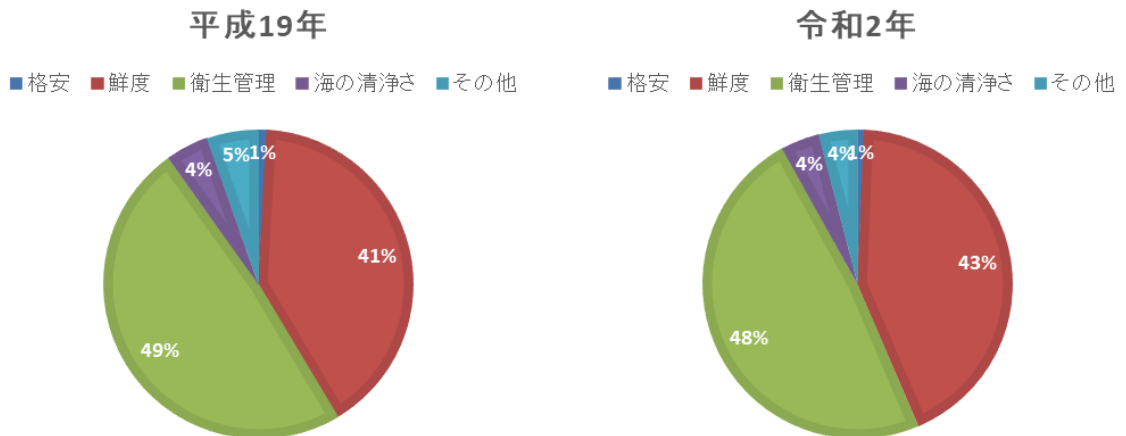
- ・令和2年は平成19年より産地を意識せずに購入する割合が増加

〈1-3〉産地を意識して購入した理由について。

(回答は、〈1〉で1~3と答えた方 n=303 選択は1つのみ)

1 格安だと思うから	0.7%	2
2 鮮度が良いと思うから	42.9%	130
3 衛生管理がしっかりしていると思うから	48.5%	147
4 産地の海がきれいだと思うから	4.0%	12
5 その他	3.3%	10
無回答	0.7%	2

(平成 19 年との比較)

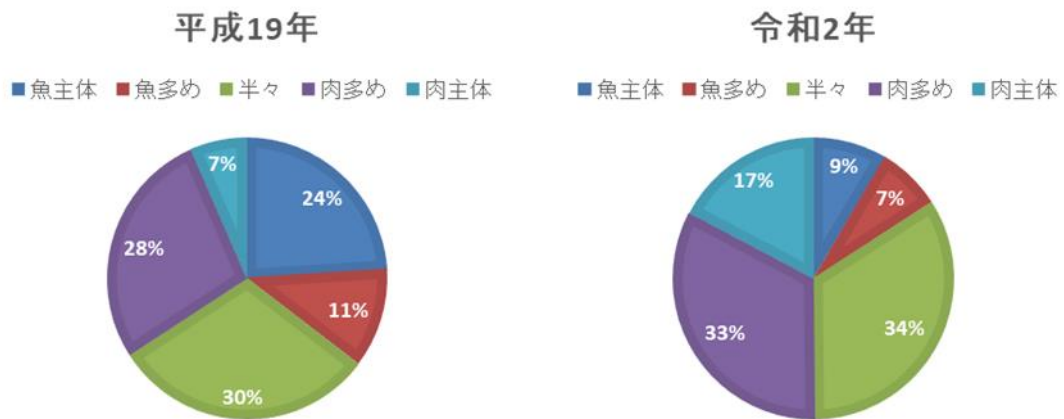


・産地を意識する理由について、変化は見られなかった。

〈2〉日頃の食事のおかずは、魚料理と肉料理のどちらが多いかについて。

	(n=365 選択は1つのみ)	
1 魚料理が多い	8.5%	31
2 どちらかというと魚料理が多い	7.4%	27
3 ほぼ半々	34.0%	124
4 どちらかというと肉料理が多い	32.9%	120
5 肉料理が多い	17.3%	63

(平成 19 年との比較)



・令和 2 年は、平成 19 年より魚料理を食べる割合が減少した。

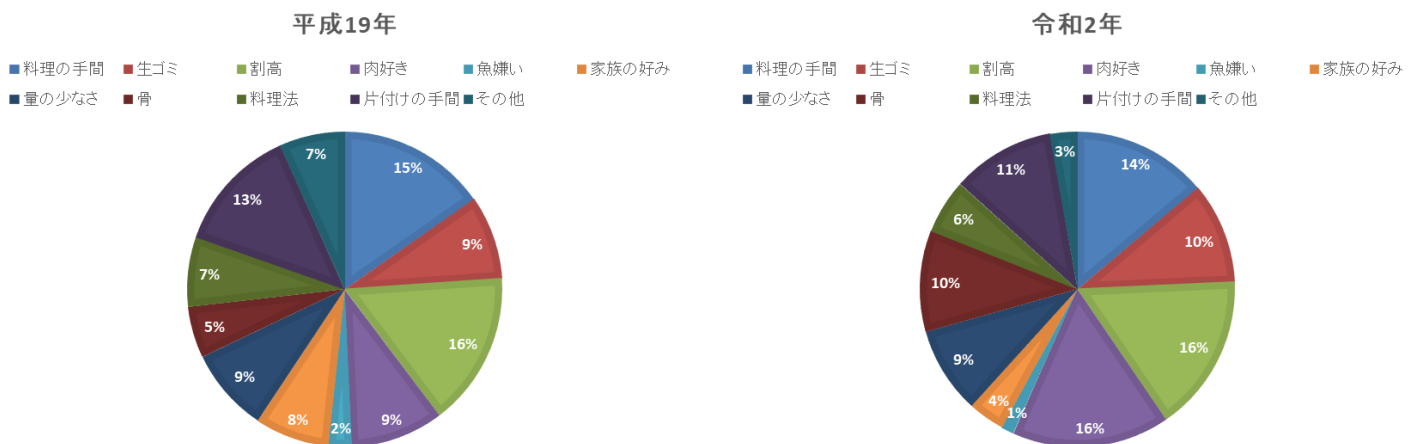
〈2-2〉 魚料理が少ない主な理由について。

(回答は、〈2〉で4または5と答えた方 n=183 選択は3つまで 回答件数=395)

1 料理が面倒だから	13.9%	55
2 生ごみが出るから	10.4%	41
3 肉より価格が高いから	16.2%	64
4 魚より肉が好きだから	16.2%	64
5 魚が嫌いだから	1.3%	5
6 魚が嫌いな家族がいるから	3.8%	15
7 肉よりボリューム(量)が少ないから	8.9%	35
8 骨があって食べにくいから	10.4%	41
9 料理方法が分からないから	5.6%	22
10 グリルを洗ったり後片付けが面倒だから	10.6%	42
11 その他	2.8%	11

(平成19年との比較)

・魚料理が少ない理由として、「魚より肉が好きだから」と「骨があって食べにくいから」の割合が増加。



〈3〉 通販サイトで水産物を購入したことがあるかについて。

(n=365 選択は1つのみ)

1 購入したことがある	34.0%	124
2 購入したことがない	66.0%	241

〈3-2〉 通販サイトで水産物を購入する際の決め手について。

(回答は、〈3〉で1と答えた方 n=124 選択は3つまで 回答件数=330)

1 サイト全体の雰囲気	8.5%	28
2 商品の画像	13.6%	45
3 価格	23.3%	77
4 商品の目新しさ	5.2%	17
5 口コミ	11.8%	39
6 ギフトなど贈答用に対応	5.8%	19
7 産地直送	20.0%	66
8 保存期間が長い	4.5%	15
9 調理が簡単	6.4%	21
10 その他	0.9%	3